

平成 26 年 8 月 8 日

各 位

会社名 ローヤル電機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 佐藤 和義
 (コード番号 6 5 9 3)
 問合せ先
 役職・氏名 執行役員管理本部長 鮫島 弘一
 電話 0 3 - 5 4 2 4 - 1 8 6 0

当社の親会社名 株式会社小田原エンジニアリング
 代表者名 代表取締役社長 宮脇 伸郎
 (コード番号 6 1 4 9)

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 12 月期第 2 四半期累計期間（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日）決算において特別損失を計上するとともに、平成 26 年 2 月 12 日及び平成 26 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 26 年 12 月期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

連結子会社の財政状態等を勘案し、個別業績において、関係会社事業損失引当金繰入額として 1 億 8 千 9 百万円を計上することといたしました。

2. 平成 26 年 12 月期業績予想の修正について

平成 26 年 12 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	2,408	△64	△130	△134	△31 93
今回修正 (B)	2,356	△131	△232	△241	△57 41
増減額 (B)－(A)	△51	△67	△101	△107	
増減率 (%)	△2.2	－	－	－	

平成 26 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	5,296	58	101	101	24 24
今回修正 (B)	5,100	△80	△125	△140	△33 30
増減額 (B)－(A)	△196	△138	△226	△241	
増減率 (%)	△3.7	－	－	－	

平成 26 年 12 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	百万円 1,656	百万円 43	百万円 39	円 銭 9 38
今回修正 (B)	1,879	70	△127	△30 32
増減額 (B)－(A)	223	26	△166	
増減率 (%)	13.5	62.0	—	

平成 26 年 12 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	百万円 3,369	百万円 85	百万円 77	円 銭 18 44
今回修正 (B)	3,600	110	△90	△21 41
増減額 (B)－(A)	230	24	△167	
増減率 (%)	6.8	28.6	—	

(注) 平成 25 年 12 月期は 3 月決算から 12 月決算に決算期の変更をしたことに伴い 9 ヶ月間の変則決算となっておりますので、前期及び前期第 2 四半期の実績は記載しておりません。

修正の理由

(連結)

当第 2 四半期累計期間の売上高につきましては、自動巻線機事業の売上高が第 3 四半期以降にずれ込んだことにより前回発表予想を下回る予想となりました。また、損益につきましては、自動巻線機事業の新規開発要素の高い案件や棚卸資産の評価減等により営業利益、経常利益及び当期純利益ともに前回発表予想を下回る予想となりました。

また、通期の連結業績予想は、第 2 四半期累計期間の業績を反映するとともに、当社グループの持分法適用関連会社である R S インベストメント株式会社の出資先において、第 1 四半期に追加計上された貸倒引当金の一部戻入れが下期に見込まれ、これに伴う組合損失負担額の減少見込額を織り込み修正を行うものであります。

(個別)

当第 2 四半期累計期間の業績予想は、景気の回復基調及び消費税増税前の駆け込み需要等により売上高及び経常利益は前回発表予想を上回る予想となりましたが、当四半期純損失につきましては、「1. 特別損失の発生」に記載のとおり、関係会社事業損失引当金繰入額を計上する事としたため、前回発表予想を下回る予想となりました。

また、通期の業績予想は、第 2 四半期累計期間の業績を反映し修正を行うものであります。

(注) 本資料に記載した業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであるため、実際の業績は今後の様々な要因によっては、予想数値と異なる場合があります。

以 上